

## VI 社会的支援について

### 1. 結婚・出産・育児を支援する政策についての意識

#### (1) 子供を産み育てやすい国かどうか (問28)

問28【カード30】日本（フランス、スウェーデン、イギリス）は、子供を産み育てやすい国だと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。

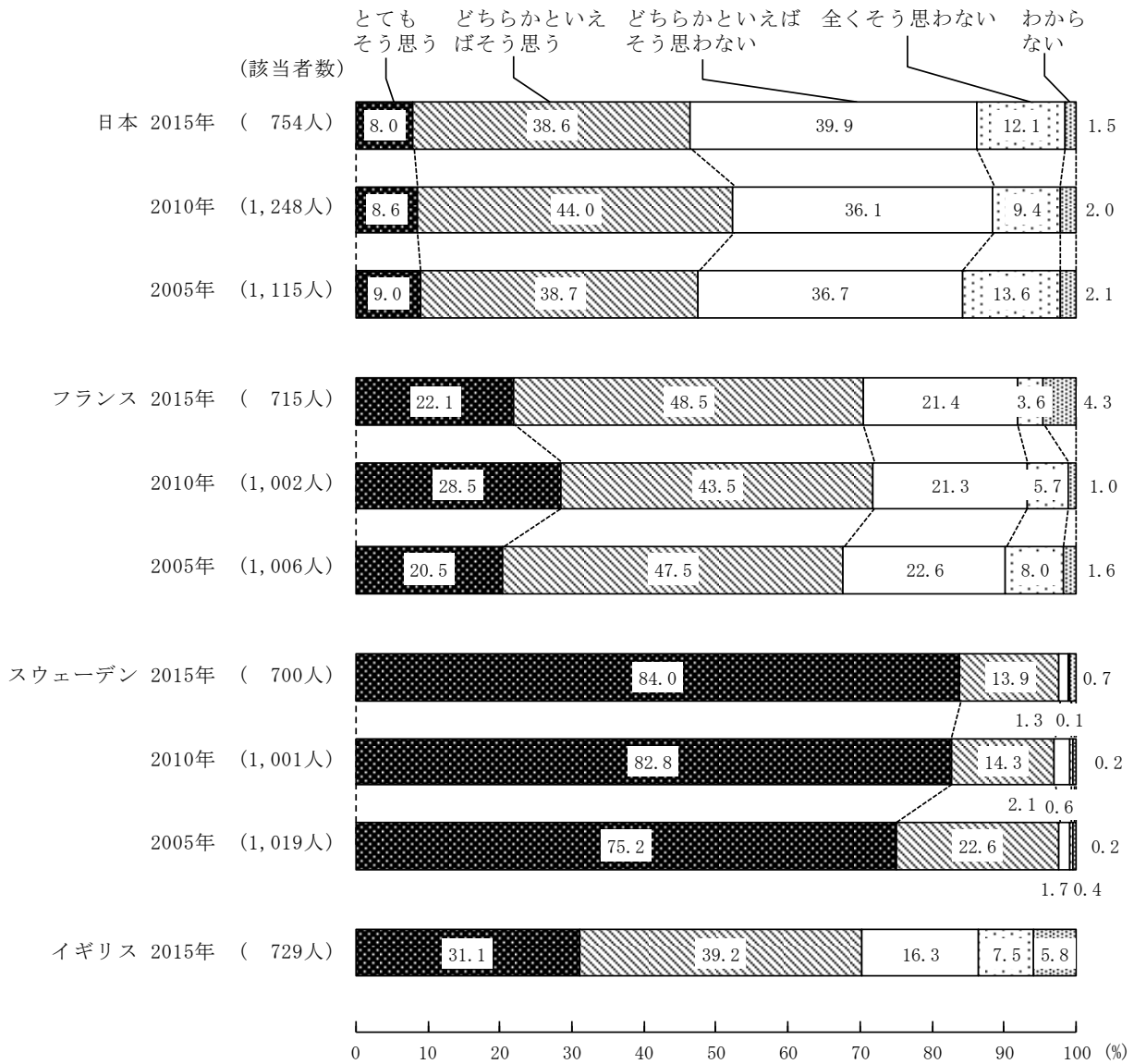
- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 とてもそう思う      | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 全くそう思わない       |
|                | 5 わからない          |

自国が子供を産み育てやすい国だと思うか聞いたところ、日本では、「どちらかといえばそう思わない」と「全くそう思わない」を合計した「そう思わない」が52.0%と、前回（45.5%）から6.5ポイント増加している。

各国の結果を比較すると、「とてもそう思う」は、スウェーデン（84.0%）、イギリス（31.1%）、フランス（22.1%）、日本（8.0%）の順で、スウェーデンが他国を大きく上回っている。フランスは前回（28.5%）より6.4ポイント減少している。日本以外の国の「とてもそう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した「そう思う」の割合は（フランス：70.6%、スウェーデン：97.9%、イギリス：70.3%）、日本と比べて高くなっている。「そう思う」では前回調査からは大きな変化はみられない。

(図VI-1)

図VI-1 子供を生き育てやすい国かどうか



(2) 生み育てやすい国だと思う理由 (問28SQ) \*新規の質問

【問28で「1 とてもそう思う」、「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方に】

問28SQ [カード31] あなたが、日本(フランス、スウェーデン、イギリス)が子供を生み育てやすい国だと思う理由は何ですか。この中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

(M. A.)

- |                                 |                                |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1 各種の保育サービスが充実しているから            | 8 育児休業中の所得保障が充実しているから          |
| 2 教育費の支援、軽減があるから                | 9 子育ての経済的負担が少ないから              |
| 3 妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから  | 10 地域の治安がいいから                  |
| 4 公園など、子供を安心して育てられる環境が整備されているから | 11 親との同居、近居により親の支援があるから        |
| 5 雇用が安定しているから                   | 12 地域で子育てを助けてもらえるから            |
| 6 フレックスやパートタイムなど、柔軟な働き方ができるから   | 13 子供を生み育てることに社会全体がやさしく理解があるから |
| 7 育児休業や出産休暇を取りやすい職場環境が整備されているから | 14 その他(具体的に)                   |
|                                 | 15 わからない                       |

自国が子供を生み育てやすい国だと思う理由を聞いたところ、日本では、「妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから」が52.1%と最も高く、以下、「地域の治安がいいから」(51.3%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランス、イギリスでは、「各種の保育サービスが充実しているから」の割合が最も高く(フランス:58.4%、イギリス:55.2%)、日本(27.1%)より28ポイント以上高くなっている。スウェーデンでは、「育児休業中の所得保障が充実しているから」の割合が86.9%と最も高く、日本(8.3%)より78.6ポイント高くなっている。(表VI-1)

表VI-1 生み育てやすい国だと思う理由

(%)

	各種の保育サービスが充実しているから	教育費の支援、軽減があるから	妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから	整備されているから	公園など、子供を安心して育てられる環境が整備されているから	雇用が安定しているから	フレックスやパートタイムなど、柔軟な働き方ができるから	育児休業中の所得保障が充実しているから	育児休業中の所得保障が充実しているから	少子育の経済的負担が少ないから	地域の治安がいいから	親との同居、近居による支援があるから	地域で子育てを助けてもらえるから	子供を生み育てることに社会全体がやさしく理解があるから	その他	わからない	回答計
日本 2015年 (351人)	27.1	4	52.1	3	29.6	13.1	13.1	16.0	8.3	6.6	51.3	28.5	13.7	11.4	-	0.6	300.0
フランス 2015年 (505人)	58.4	3	52.3	4	41.8	3.2	30.3	36.0	26.7	10.3	31.1	28.1	15.0	15.6	-	1.2	394.7
スウェーデン 2015年 (685人)	72.4	2	73.7	3	58.1	62.9	65.4	52.3	86.9	19.1	42.0	25.5	47.4	57.8	1.2	0.3	744.7
イギリス 2015年 (513人)	55.2	3	53.0	5	41.5	12.3	42.5	20.3	17.2	6.2	31.2	15.0	19.1	30.0	2.3	2.3	396.7

(3) 結婚を希望する人に対する施策として何が重要か (問29) \*\*変更の質問

問29【カード32】結婚を希望する人を支援する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを、**いくつでも**選んでください。(M. A.)

- |                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1 雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること  | 5 結婚すると活用できるような税制を行うこと     |
| 2 賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること | 6 夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実 |
| 3 結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと     | 7 その他 (具体的に )              |
| 4 出会いの場を提供すること              | 8 特にない                     |
|                             | 9 わからない                    |

結婚を希望する人を支援する施策として何が重要だと思うか聞いたところ、日本では、「夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実」が57.0%と最も高く、「賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること」(56.0%)もほぼ同率である。次いで「雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること」(43.6%)が続いている。

各国の結果を比較すると、フランス、イギリスでは、「賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること」が最も高くなっている(フランス:47.0%、イギリス:54.5%)。スウェーデンでは、「雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること」が61.7%と最も高くなっている。

(表VI-2)

表VI-2 結婚を希望する人に対する施策として何が重要か

(%)

	提 供 す る こ と	安 定 し た 雇 用 機 会 を も つ て 、	賃 金 を 上 げ て 、 安 定 し た 家 計 を 営 め る こ と	資 金 貸 与 や 住 宅 に 対 し た 補 助 を 行 う こ と	結 婚 や 住 宅 に 対 し た 補 助 を 行 う こ と	出 会 い の 場 を 提 供 す る こ と	こ ろ よ う な 税 制 を 行 う こ と	結 婚 す る と 活 用 で き る よ う な 税 制 を 行 う こ と	場 境 の 充 実	夫 婦 が と も に 働 き つ づ け ら れ る よ う な 職 場 環 境 の 充 実	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	回 答 計
日本 2015年 (754人)	3	43.6	56.0	2	35.5	15.0	24.9	57.0	1	0.4	1.6	0.8	234.9	
フランス 2015年 (715人)	3	38.3	47.0	1	28.3	8.0	44.5	30.3	2	0.3	11.5	3.9	212.0	
スウェーデン 2015年 (700人)	1	61.7	24.4	3	4.1	5.0	16.9	37.1	2	2.4	12.9	4.9	169.4	
イギリス 2015年 (729人)	2	47.7	54.5	1	23.2	3.7	38.8	45.4	3	0.5	3.0	4.3	221.1	

(4) 妊娠・出産時の身体的・経済的負担を軽減する施策として何が重要か (問30) \*\*変更の質問

問30 [カード33] 妊娠・出産時の身体的・経済的負担を軽減する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを、3つまで選んでください。(3M. A.)

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| 1 出産費用を助成することにより、自己負担をなくすこと | 6 家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスの充実                            |
| 2 不妊治療に対して助成すること            | 7 妊娠から出産、子育てまでの医療、相談、支援などを、一か所の窓口で総合的に受けられる公的サービスの充実 |
| 3 妊娠中の健康診断を無料で受けられるようにすること  | 8 その他 (具体的に )  |
| 4 産前・産後の休業期間を拡大すること         | 9 特にない   |
| 5 母子保健サービスを充実すること           | 10 わからない   |

妊娠・出産時の身体的・経済的負担を軽減する施策として何が重要だと思うか聞いたところ、日本では、「出産費用を助成することにより、自己負担をなくすこと」が70.8%と最も高く、以下、「妊娠中の健康診断を無料で受けられるようにすること」(46.9%)、「産前・産後の休業期間を拡大すること」(38.6%)、「妊娠から出産、子育てまでの医療、相談、支援などを、一か所の窓口で総合的に受けられる公的サービスの充実」(38.3%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、欧州各国では「妊娠中の健康診断を無料で受けられるようにすること」(フランス：44.6%、スウェーデン：52.0%、イギリス：46.9%)が最も高く、次いで「産前・産後の休業期間を拡大すること」(フランス：42.7%、スウェーデン：44.6%、イギリス：42.8%)の順となっている。(表VI-3)

表VI-3 妊娠・出産時の身体的・経済的負担を軽減する施策として何が重要か

(%)

	1 り、出 産費 用を 助成 する こと によ	2 と不 妊治 療に 対し て助 成す るこ	3 けら れる よう にす るこ と	4 す産 前・ 産後 の休 業期 間を 拡大	5 こと 母子 保健 サー ビス を充 実す る	6 の家 事援 助な どを 行う ヘル パー の充 実	7 か所 の窓 口の サー ビス の充 実	8 妊 娠か ら出 産、 子育 てま での 医療 、相 談、 支 援な どを 、一 か所 の窓 口で 総合 的に 受け らる 公的 サー ビス の充 実	9 そ の 他	10 特 に な い	11 わ か ら な い	12 回 答 計
日本	1	5	2	3			4					
2015年 (754人)	70.8	29.7	46.9	38.6	25.6	12.6	38.3	-	0.7	0.5	263.8	
フランス			1	2	5	3	4					
2015年 (715人)	17.9	9.8	44.6	42.7	26.4	29.9	26.6	0.1	8.8	5.3	212.2	
スウェーデン	4	5	1	2			3					
2015年 (700人)	26.9	23.6	52.0	44.6	20.7	11.7	42.0	1.7	4.4	2.4	230.0	
イギリス	3		1	2	5		4					
2015年 (729人)	34.8	13.7	46.9	42.8	25.5	13.6	32.5	0.5	4.5	7.5	222.5	

(5) 育児を支援する施策として何が重要か(問31) \*\*変更の質問

問31【カード34】育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを、いくつでも選んでください。(M. A.)

- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
| 1 各自のニーズに合わせた多様なサービスの充実                | 11 子育ての経済的負担を軽減するための手当の充実や税制上の措置 |
| 2 教育費の支援、軽減                            | 12 ひとり親家庭への支援の充実                 |
| 3 小児医療の充実                              | 13 3人以上の子供がいる世帯への支援の充実           |
| 4 公園など、子供を安心して育てられる環境の整備               | 14 子供のいる世帯への住宅費の支援               |
| 5 雇用の安定                                | 15 子供を生き育てることの喜び、楽しさの啓発          |
| 6 企業のワーク・ライフ・バランス政策を充実させること            | 16 子供に対する犯罪の防止など、地域における治安の確保     |
| 7 男性の育児休業の取得促進                         | 17 その他(具体的に )                    |
| 8 育児休業中の所得保障の充実                        | 18 特にない                          |
| 9 育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリアのハンデとならないための取組 | 19 わからない                         |
| 10 出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実              |                                  |

育児を支援する施策として何が重要だと思うか聞いたところ、日本では、「教育費の支援、軽減」が64.1%と最も高く、以下、「小児医療の充実」(48.3%)、「雇用の安定」(39.7%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランスでは、「雇用の安定」が47.0%と最も高く、以下、「教育費の支援、軽減」(40.0%)、「育児休業中の所得保障の充実」(35.1%)などの順となっている。スウェーデンでは、「育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリアのハンデとならないための取組」が69.1%と最も高く、以下、「ひとり親家庭への支援の充実」(62.6%)、「出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実」(62.3%)などの順となっている。イギリスでは、「雇用の安定」が51.3%と最も高く、以下、「企業のワーク・ライフ・バランス政策を充実させること」(48.1%)、「出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実」(44.0%)などの順となっている。(表VI-4)

表VI-4 育児を支援する施策として何が重要か

(%)

	様々なサービスの充実	各自のニーズに合わせた多	教育費の支援、軽減	小児医療の充実	公園など、子供を安心して育てられる環境の整備	雇用の安定	企業ワーク・ライフ・バランス政策を充実させること	男性の育児休業の取得促進	育児休業中の所得保障の充実	育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリアの取得に不利にならないための取組	出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実
日本			1	2		3					4
2015年 (754人)	19.2	64.1	48.3	29.2	39.7	22.8	24.9	26.9	26.0	37.3	
フランス		2			1			3		4	
2015年 (715人)	18.5	40.0	24.3	25.0	47.0	27.6	21.3	35.1	31.7	34.8	
スウェーデン							4		1	3	
2015年 (700人)	24.7	24.4	31.9	37.3	40.7	29.4	60.1	42.9	69.1	62.3	
イギリス	5				1	2		4		3	
2015年 (729人)	38.0	33.6	29.1	34.0	51.3	48.1	38.1	25.9	28.5	44.0	
	制するたための措置	子育のための経済的負担を軽減	ひとり親家庭への支援の充実	3人以上の子供がいる世帯への支援の充実	子供のいる世帯への住宅費の支援	子供を楽しく育てることの喜び	子どもに対する犯罪の防止	その他	特になし	わからない	回答計
日本	5										
2015年 (754人)	34.5	30.1	24.9	28.5	14.7	31.7	0.4	0.7	0.8	504.6	
フランス	5										
2015年 (715人)	34.1	28.0	21.7	31.9	13.0	26.9	0.7	2.1	2.1	465.7	
スウェーデン							5				
2015年 (700人)	15.9	62.6	13.3	20.1	32.6	59.7	1.4	1.4	0.1	630.0	
イギリス											
2015年 (729人)	37.2	35.8	19.3	34.4	22.2	32.6	0.3	0.7	1.6	555.0	

(6) 子供・子育て支援を実施するための負担に関する考え (問32)

問32【カード35】国が子供・子育て支援を実施するためには、財源が必要となります。それを確保するための負担について、あなたの考えに近いものを1つだけ選んでください。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 増えてもやむを得ない         | 3 どちらかといえば増えるべきではない |
| 2 どちらかといえば増えてもやむを得ない | 4 増えるべきではない         |
|                      | 5 わからない             |

国が子供・子育て支援を実施するための負担について聞いたところ、日本では、「どちらかといえば増えるべきではない」と「増えるべきではない」の合計は35.7%と、前回(28.4%)から7.3ポイント増加している。

各国の結果を比較すると、「増えてもやむを得ない」はスウェーデン(36.4%)が他国より割合が高い。また、「増えてもやむを得ない」と「どちらかといえば増えてもやむを得ない」の合計は各国とも6割を超えるが、スウェーデンは他国より9ポイント以上上回っている。前回調査と比べると、フランスでは、「どちらかといえば増えるべきではない」の割合が19.2%と、前回(5.0%)から14.2ポイント増加している。スウェーデンでは、「どちらかといえば増えてもやむを得ない」の割合が41.4%と、前回(27.9%)から13.5ポイント増加している。(図VI-2)

図VI-2 子供・子育て支援を実施するための負担に関する考え

